栃木放送平成 24 年度第 1 回 4 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 24 年 4 月 17 日(火)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 8 名

欠席委員 1 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	太 田 照 男
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	安 納 守 一
	委 員	佐 藤 正 典
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	荒 川 勉
局側出席者氏名	代表取締役社長	水 沼 富 美 男
	常務取締役	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

4 議 題

(1) 「 2012 年度春の番組改編 」 について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「 2012 年度春の番組改編 」 について

試聴番組：平成 24 年 4 月 2 日(月)放送の「ラジっちゃう？」の中
の落語(寄席っちゃう)のコーナーおよそ 15 分間を試聴

議題説明：報道制作局長 高瀬 一也

「 2012 年度春の番組改編 」 の概要について説明。
次に 4 月 2 日放送の番組を試聴し、審議に入る。

各委員からは、

落語というのは新鮮な感じがした。

4月からNHKの県域放送が始まった。その辺を意識したニュース作りが必要だと思う。ラジオニュースに対するテレビニュースの比率はどれくらいなのか。

ラジオのニュースとテレビニュースの相互乗り入れは社長が兼任しているメリットだと思う。今後もどんどん取り入れるべき。落語というのは何かしながらでも聞ける。力を入れてほしい。

朝のニュースに比べて夕方のニュースの時間が短い。もっと時間を増やしてほしい。

ラジオの特性は速報性。きちんと伝えてほしい。

放射線量の情報をもっときめ細かくやってほしい。回数も増やしてほしい。

放射線量の情報を出すことによるマイナス面もあると思う。

放射線量の情報はそんなにいらぬ。新聞の情報だけで十分。

ラジオでは朝・夕で十分。それほどナーバスにならなくてもいいと思う。

放射線量の数値を言われても自分で評価できない。放射線量の変動に意味があるのだと思う。急な変動があった時には伝えてほしい。

安心できる解説などもうひと工夫がほしい。

数値や変化を伝えるのは難しいと思う。ニュースとしてきちんと取り上げて欲しい。

放射線量情報はやればやるほど風評被害になる恐れもある。

「ふるさとの田園風景」はナレーターも落ち着いた感じで、バックの音の感じもよかった。素晴らしい番組だった。

当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成24年度第2回5月期の審議会を平成24年5月15日(火)に開催することを決めて閉会した。

以上